

桜ノ頃、夫婦仲険悪回避術

軽々しく褒めてはいけない

桜満開の4月6日土曜日、夫婦して中心街で簡単な用事を済ませ、少しばかり公園の桜並木を散策。いつもなら、そそくさと帰路に着いて、体力と機嫌に余力があれば身辺の整理でもするかなあと日常どおりの思考だつたが「天気も良いしカフェにでも行かない?」との妻の誘いに何の躊躇もなく同意して馴染みの店に向かう。

夫の注文はこれもまた迷いなく普段通りのミドルサイズのコーヒー。しかし妻にしては春の陽気に弾みがついた女子全開の「何にしようかな?」と悩みの言葉を口にする。あれにするか?これにするか?飲み物に甘い物を体重に加算して大丈夫か?身体に取り込んだ後に消化発散出来ず蓄積する事になりやしないか?つまる所、ストロベリーヨーグルトと何とか固形物を回避しフルーツを碎きミルク加工品に大量の砂糖を混ぜ込んだであろう飲み物に注文が落ち着いた。

ところが、PayPayで支払おうとした、その時、可愛く愛嬌がいい店員さんが、信

じられない言葉を吐き出した。「いつもお綺麗ですから、何を頼まれても大丈夫ですよ」適当な出まかせと分かつてはいるはずなのに一気にテンションが上がる妻。営業トクに全身で喜びを表す妻に同調し店員さんもハイトーンな黄色い声で応対に励む。しかし、白け顔で商品の受け渡しのタイミングを測る男子バイトは決済が済まないと夫が注文したコーヒーは渡してくれない。早く席で優雅なひと時を過ごしたいのに、妨げられ少々迷惑に思いながら、支払いを催促「払ったから、もう家内を褒めないでいいよ」陽気な笑声で盛り上がるカウンター内の他の店員さん一同。調子に乗り「お代は倍取つてもいいわよ」っと自らの財布に被害がない妻の軽口に「はーい」と応える冗談が冴えた若い店員さん：「その支払いは僕じゃなく、妻に払ってもらつてね！」しかし、彼女たちはカフェを出た後、自宅で体重計に乗つた妻との深刻な会話に対する予測は不可能なのだろう。「あれ、1キロ増えてる！」迂闊に軽々しく中年妻を褒めてはならない。

不本意でも同意する瞬発力／／思い通りの値を指す体重計

「カフェで飲んだストロベリーヨーグルトね、そんなに砂糖は入っていないので、多分、太らないはずよ」

カフェを出て自宅へ戻る前に日常品の買い物をと車で走っている最中、体重を気にしていない素振りでありながら、絶対に気にしている妻と乳製品と季節の果物を取り込み、そして身体への蓄積度合いを語り合う。

「そもそも1キロや2キロの体重の差なんて、誤差の範囲だから体重計に乗る度に、それも若い娘じやあるまいし悲鳴を上げなくてもいいんじやない。トイレで排出するだけでも相当量の水分や固形物が出るので、多少の体重の誤差は出るよ」

「そんなに杓子定規な応えじや、なんの慰めにもならないじやない。体重計が指す重さの値に心を碎く女心をちゃんと理解してよね」

食べたい欲望、食べたのに動きたくない怠け心、そもそも「じやあ喰うなよ」なんてうつかり口にするものなら、この世の終わりの如く怒り狂い、食事は作らない、掃除もしない、洗濯も断固拒否…なんて家の中に暴風雨が荒れ狂うだけに留まらず、就寝直前まで恨み節を聞く羽目になる経験則から…暫しの沈黙を瞬時に判断…年の功を、我ながらと自我自賛を味わう一時が過ぎる。(成長したのね)妻)

しかも「そんな、体重計の重さを俺の責にされてもね、文句があるなら体重計に言えばいいじゃない。そうそう製造メーカーに思つた通りの体重の値を示す体重計を造るよう提案でもしてみたらどう?」我ながら話題の変換が巧みな事この上ない。

「そんな思つた通りの体重を指す体重計じゃ、どれだけ太つたか確認にもなりやしないじゃない」「じゃ、3キロまでなら、心で念じるだけで思つた体重になる体重計とか? そうそう、瘦せている重さは必要ないから上振れしている重さが思うだけで下がる体重計なんかどう?」女心へ真剣に理解を示す素振りを、それもいい加減さを微塵にも見せないよう、細心の注意を払い、いつもでも美しさへの貪欲さに不本意ではあるが寄り添つてみる。

「それつて考へている事を察知して重さの値をコントロールする、機能を実現するつて難しそうよ。身体の緊張度合いで、たとえば指、親指に力を込めたら3キロ、人差し指なら2キロ、小指なら1キロつてそれぞれ本当の体重より差し引いてくれる体重計なら: 欲しい女子は多いかもしねないわ」

しめしめ機嫌が少し持ち直して来た。しかも3キロの誤差を思い通りに修正出来る機能を備えた体重計には、不関心と冷静さを装い薄い反応ながら結構な興味を示す。

実際はバレているが、心底欲しい体重計だとは理性の抑圧もあつて寸分たりとも言葉にしようとしてない。飲食してもその分だけ発散したらいいだけと、不機嫌を助長する話題は避け、あくまで帰宅までのご機嫌の保全と維持が確保出来た。

我ながら上出来！でも、桜も満開で今週末までが見頃だと思うので近所の階段が急な神社にも出かけない？とのストロベリーヨーグルトの消化発散に貢献しようとの誘いにに関しては…しんどいから行かない！と自滅の選択をする妻が理解出来ない。